

性別	年齢	職業	ご意見	回答	計画への反映
全体について					
男性	50歳代	公務員・ 団体職員	県の基本計画であることから、県の機関・関係団体の位置づけが中心になることは止むを得ないと思います。しかし、業界団体などを構成しない企業、大学、研究機関などがそれぞれの分野で打ち出すプロジェクトを吸い上げ、地域の大きな流れの中に位置づけるような仕組み（コンソーシアムやクラスター以外の手法で）を盛り込むべきではないでしょうか。知の「拠点」では、県の研究機関・大学の記述が具体的であるが、他は抽象的です。	地域全体の大きな流れは、行政の取組だけでは実現しません。そのため、ボランティアやNPO、さらには近隣地域との連携が必要と考え、知の連携戦略に記述をしています。 なお、知の拠点については平成18年度に具体的なあり方を検討していきます。ご意見を参考にしながら、具体化を進めていきたいと思ひます。	
男性	40歳代	会社員	計画全体を通して、研究者の考えている計画とはとても思えない。また計画が漠然としている。	計画は、研究者の提言やヒアリングを参考に実現性や県の関与の度合いを考慮して、県で作成しています。 また、広範な分野の取組を記述しているため、検討の進捗に大きな差があるものが混在しています。そのため、計画推進のための各分野の専門による委員会を開催し、計画を具体化するとともに、毎年計画の進捗を評価し、計画内容の見直しを進めていく予定です。	
男性	60歳代	無職	基本計画に対し、実現していくためのロードマップを早く具体化してほしい。		
男性	30歳代	公務員・ 団体職員	「県版スーパー・サイエンス・スクールの検討」とありますが、基本計画に記載する取組が「検討」というのではあまりに悲しくないですか。構造改革特別区域制度や文部科学省の研究指定校制度を活用して、もっと理科系の教科を重点的に学習できる環境を整えるところまでめざすようなものであることを期待しています。	国の制度では、県内で数校しか指定できず、県全体の底上げにはつながりません。そこで県として何らかの制度が必要と考え取り上げましたが、具体の検討には着手しておらず、今回案では検討の表現にとどめております。毎年の見直しの中でご意見を参考にさせて頂きながら内容を具体的にしていきたいと思ひます。	
男性	40歳代	公務員・ 団体職員	長期的な計画のはずなのに、全体的に、具体の取組が、現在、計画・実施されているものばかりが整理されているだけに過ぎない。もう少し、きちんとした展望やしっかりとした政策を示さないと、意気込まれるような「先導計画」とはならないと思う。	本計画は、短期的・戦略的計画として、策定しています。そのため、取組や目標は構想段階も含め、すでに計画されているものを中心に、次の10年に向けた準備段階のものが記述してあります。県としての将来の方向性は、施策の方向性や未来図のイラストで表現しています。	

性別	年齢	職業	ご意見	回答	計画への反映
男性	60歳代	無職	「具体的な取組」のなかで県が主導的に関与ができる分野は少なく受身で、目標の達成は他人任せである。数値目標を設定することも大切であるが、目標達成するために県がどのように企業、研究所等々にどのようなサポート策をとるか具体的に明確化すべきである。	具体的な取組は、県が直接又は間接的に関与ができる項目を中心に記載しています。環境整備のものについては、目標数値が相手任せのものもありますが、そうした数値が達成できるよう最大限のサポートをしていく予定です。	×
男性	40歳代	会社員	ベンチャー10社の設立とか、特許100件の出願とか、一体全体、県は何処を向いているのか。このような計画は、単に国の計画の模倣だ。県は、“ミニ政府”ではない。もっと、県に相応しい独自の計画にすべきである。そうすれば、例え、地味な計画案であっても、われわれ県民は、納得するだろう。	今回計画の一つのキーワードは「愛知らしさ」です。それは、重点分野や基盤分野における取組領域にも表現しています。数値目標において、一部、国の目標と同じようなものがありますが、数値目標はあくまでも重点分野を実現するための手段であり、県が目指しているのは、科学技術による豊かな県民の実現であると考えています。豊かな自然や、資源に基づいた本県の特性を最大限に活かし、効果的かつ着実に目標を実現していきたいと思います。	
男性	50歳代	会社員	「ナノテク」や「燃料電池」といった流行だけのものを県として行うべきではないと思います。上辺だけの研究や子供科学教室向けの結果なら何の意味もありません。派手さはなくても地道なテーマを着実に行うべき。中小企業はこのように地道な結果やデータを求めているのです。公設試験場は地道に基礎的なデータなど取り、積極的に外部にそのデータを公表することが一番中小企業の支援になると思います。ナノテクや燃料電池といった予算的にも大きな研究は国や大学に任せるべきです。	国と県との役割を考えたとき、国は基礎研究を、県は実用化を中心に取り組む必要があると思います。例えば、燃料電池でも、研究は国や企業が担いますが、その生産は地域が担うことになり、そのための準備は常にしておく必要があります。国のプロジェクト等によりこの地域で先進的基礎研究を実施することで、先進技術の集積を行い、県はその成果を地元企業に繋ぐ役割を果たしていきたいと考えています。	
男性	40歳代	会社員	目標の特許出願100件というのは、出願だけなら誰でもできることであり、目標の設定として実施されている特許件数を示すべき。	特許出願件数の目標は、国の地域科学技術プロジェクトでの成果をもとにしています。限られた期間の中で、実施件数を目標とすると、基礎的・先進的研究が行えない可能性があるため、出願数を目標としました。なお、本県の試験研究機関が有する特許については、技術移転の件数を目標としております。	

性別	年齢	職業	ご意見	回答	計画への反映
男性	40歳代	会社員	産業的に偏った構成という表現があるが、輸送機械の規模が大きいことは、むしろ愛知県の強みではないか。今後も自動車産業が愛知県の主要産業であり続けることが本県にとって最も重要。	現在輸送機器産業が本地域の経済を牽引し、今後においても重要な役割を果たすことは間違いのないことだと思われます。しかし、時代の変化は非常に早く将来を予測することは困難です。強みをしっかりと支えながら、新たな分野への挑戦を続けることで、時代の変化に対応できる柔軟な産業構造を持つておく必要があると思われます。なお、本県の産業については偏っている構成の文言については修正を検討します。	
男性	70歳以上	無職	人間とは何か、そのためにはこの技術をどう活かすか。いつも人間を大切にす理念、哲学をもって県政を進めて欲しい。科学が進歩するだけがよい県政になるとは限らない。	<p>今回計画では、科学技術推進の目的として、技術の尺度ではなく、県民の視点を尺度として4つの重点分野を定めました。技術を利用するものや活用するものの視点としての心のあり方については、留意事項として記載しています。</p> <p>今後においても、できる限り県民の意見を聞く機会を作り、人を中心とした推進が行えるように心がけてまいります。</p>	
女性	40歳代	専業主婦	科学技術というのはあくまでも、人あってのものであり、人々が本当に必要としている分野での取り組みからしてほしいものです。		
男性	40歳代	自営業	おおむね良い。しかし、科学技術といえ基本は「モノでなく、人」であるという哲学というかポリシーはもっと出すべきでだろう。教育や暮らしの安全にいかに関与するのか、という庶民の視点も必要。		
男性	50歳代	その他	人の心の有り様の問題です。いささかSF漫画のような未来図の住人が実は殺伐として、退廃的で、時には感情すら持たないとしたら、これは、ホラーでしかありません。科学文明の発達人間の豊かな文化に裏打ちされなければ持続的成長はありえないからです。		
女性	50歳代	専業主婦	介護支援ロボットや装置が開発されているが、コスト面等から、今はまだ人的な支援が必要ではないか。幼児期での年下への手助け体験や小学校での保育体験、車いす等の体験など、日常の中で地域や学校、企業などに、優れた技術での支援をお願いしたい。食の安全でも、幼少期からの、調理からゴミの処理までの体験などにより興味や関心が生まれてくるのではないか。ボランティアの種類が増加することも嬉しいことなので、人を重視した取組を進めて欲しい。		

性別	年齢	職業	ご意見	回答	計画への反映
女性	30歳代	専業主婦	非常に興味深い分野の計画で実現されるのは楽しみです。	第2期の計画期間については、2010年以降の本県科学技術の方向定める重要な時期であり、着実に継続的に事業遂行を目指していきます。	
男性	60歳代	無職	全体として達成が期待されるもので、諸施策の円滑な遂行を期待する		
女性	70歳以	専業主婦	計画の位置づけは是非守って欲しい。		
女性	70歳以	その他	県民を豊かにする重点4分野の具体的取組と目標設定の推進を図る取組を希望します。		
男性	60歳代	無職	・全体的にカタカナ（フロントランナー、ゼロミッション、サポート、ユニバーサル、データベース...等々）が目立ちます。分かりやすい言葉で整合性を取って欲しい。	できる限りわかりやすい言葉にするとともに、書き換えの難しい言葉は、解説や併記により対応させていただきます。農林産物については、農林水産物とします。	
男性	30歳代	公務員・団体職員	・「マイルポスト」 日本語で言い換えることはできませんか。 ・「農林産物」 水産物は含めなくてよいのですか。		

性別	年齢	職業	ご意見	回答	計画への反映
重点4分野についての意見					
環境の分野					
男性	30歳代	会社員	将来の原油減少に備えるために、車依存の現在の社会からの脱却を図るべき。(公共交通機関の充実、石油以外のエネルギー創出)	公共交通機関充実のためのITS(高度道路交通システム)や新エネルギーへの取組、ナノテクノロジーなど愛知万博で実証試験が行われた取組については、実用化に向け更なる実証が必要であり、基本計画においても万博開催県の責務として知の継承戦略等において実用化に向けた積極的な取り組みを当地域で展開していくこととしております。	
女性	20歳代	その他	万博での新エネルギー等実証研究の継続は非常にいいことだと思う。生ゴミをエネルギーに変えるのは環境にいいことなので続けて広めてください。		
女性	40歳代	専業主婦	桃花台線の存続について、万博で使用した燃料電池バスを借りて営業することはできないでしょうか？あと、小牧市はエコ都市として、国に特区申請して、燃料ステーションの建設の補助をもらうとか、万博で使用した燃料電池バスならお客さんも増えとおもうし。	桃花台線のインフラ施設の構造上、バスを走らせるためには相当のインフラ改修を行う必要があり、改修費が相当高額になるなど簡単には導入できるものではなく、現実的ではありません。また、燃料電池バス自体が、実証実験中であり、コスト面等から営業運行にはもうしばらく時間がかかると思われます。 先日、万博で利用された国内最大規模の「水素ステーション」が、中部国際空港地域に移設されることが決まったことを受けて、今後、県としても関係者とともに燃料電池自動車の走行試験にも取り組んでいきたいと考えています。 小牧市においても、昨年11月には環境都市宣言をするなど、環境への取り組みを積極的に行っておりますので、小牧市へもいただいたご意見をお伝えいたします。	x
女性	60歳代	専業主婦	「温室効果ガスの削減」この問題は危急問題である。具体的にどのような方法で県民のみんなが意義を持って行動に移すか。PCで「ストップ・ザ・温暖化」をアクセスしてみてください。このような方法で、できるだけ多くの県民がこの運動に参加できるように市町村へ下ろし、更には町内会に下ろして県民全員が参加できるよう方法を考えたい。各家庭に一部電気代、ガス代、水道代等を記入してもらって無駄なエネルギーを減らす意識をもってもらうということを提言したい。(エコファミリーの拡大版)	県では、あいち地球温暖化防止戦略に基づき、温室効果ガスの削減に努めています。また、本計画やあいち新世紀自動車環境戦略、交通モデル圏域ビジョン、ITS推進構想、あいちエコタウンプランなど様々な施策で戦略をサポートしています。産・学・行政と県民が主体的に取り組むことで戦略は実現するものであり、県民の皆様におかれても一層の御協力を御願いたします。	

性別	年齢	職業	ご意見	回答	計画への反映
人の分野					
男性	70歳以上	無職	医療費でつぶれそう。健康のためのPRは食べ物、生活、考え方、生き方の理念をわかりやすく流して欲しい。	健康長寿は、高齢期のみを対象としたものではなく、幼少期からのライフスタイルも含めた検討が必要です。ご指摘については、今後の検討の中で、参考にさせていただきます。	
男性	40歳代	公務員・団体職員	分野の設定のうち、「人」の分野は健康長寿しかないのなら、「健康」の分野とでもすべき。例えば、「暮らし」という分野設定も、「人」の暮らしである。どうしても、人にしたいなら、「文化」とかを加えるべき。	文化については、策定委員会でも検討されましたが、「科学技術」の計画で文化を具体的取組に含めると目標の性格が変わってくる可能性があることから、推進のための留意事項で考慮すべき事項として取り上げています。	×

性別	年齢	職業	ご意見	回答	計画への反映
暮らしの分野					
男性	60歳代	その他	いつでも安全に暮らすことのできる衣・食・住への県としての強力な支援を願います。	安全な食や住への取組は、計画策定の事前アンケートでも多くの意見を頂いております。そのため、本計画でも安全・安心で質の高い暮らしの実現に向け、重点分野として取り上げており、防災や食の安全、温暖化防止、交通安全対策などに関する関連計画と連携しながら、効果的に施策を進めていきます。	
女性	40歳代	専業主婦	今騒がれている耐震基準の偽装問題はとて他人事とは思えない。安心・安全な住居と公共施設・交通機関など生活の基本となる分野への取組を今すぐにも行って欲しい。		
男性	60歳代	その他	安全に暮らす衣食住の支援に最優先で取り組んで欲しい。		
男性	60歳代	会社員	産業施設の防災とその復旧技術に関する研究について、成果を示すための施策がはっきりしていない。	大地震への備えから、インフラ等での防災や復旧技術への取組については、東三河地域で検討が行われており、災害時の行政としての取組についても県により検討を行っています。耐震技術や復旧に関する取組も大学などと共同で進めています。しかしながら、産業施設の防災・復旧や災害時の情報インフラについては、検討が進んでいないのが現状です。今後はこうした分野についても対策を進められるよう検討していきます。	×
女性	30歳代	専業主婦	災害にあった時の処置をもっと今から考えておく必要があると思う。		
男性	60歳代	会社員	全国最悪の交通死亡事故の削減に取り組み、取締りとともに、ドライバーから歩行者までの教育と科学的対策を行い、安全な車両技術など愛知県ならではの成果を目指して欲しい。	LED信号機や、歩車分離信号、視覚障害者用信号など、安全に関する多くの最新技術が、愛知県から全国に展開され、交通事故削減に大きく貢献しています。 さらに、ITSの分野では、ITS世界会議や愛知万博を契機に、本県はITS分野の先進地域となっており、この成果を活用して、モデル地域などでの更なる実証を進め、啓発や取締などの他の施策とともに、交通事故削減への恒久的な成果をあげられるよう取り組んでいきます。	
女性	70歳以上	専業主婦	県内交通死亡事故の削減は、全国最多の死亡数の中で、どのように実現するのでしょうか。厳罰化の効果であれば、他地域でもありますが。		

性別	年齢	職業	ご意見	回答	計画への反映
挑戦の分野					
男性	60歳代	無職	・小牧空港はこのままにしておくのか、誘致して先端技術都市にするのか。（現計画では心細すぎる）	名古屋空港は、愛知県が管理する空港となり、コミューター航空やビジネス機等、小型機の拠点空港として活用を進めています。また、県が滑走路を管理しているメリットを最大限活かし、この地域に集積した航空産業の活力強化につながる飛行研究施設誘致などにより、名古屋空港の機能を最大限活用していきます。	

性別	年齢	職業	ご意見	回答	計画への反映
基盤3分野への意見					
男性	40歳代	会社員	三つの基盤技術で重点4分野を支えるという発想に無理がある(県民を豊かにするのは多岐にわたった技術であり、三つの技術に限定するのは疑問を感じる)	基盤となる技術はたくさんありますが、本県の特性や県民アンケートなどを踏まえて、3分野を定めました。もっとも他の分野についても従来どおり、きちんと対応していきますが、県として重点化すべき分野を明確にすることで、本県が目指すべき将来を県民や関係者に示す必要があると考えています。そのため、計画の中では、3分野を選んだ理由を詳しく説明していきます。	
男性	40歳代	公務員・団体職員	重点分野を支える3つの基盤技術は、本当に3つなのか、なぜこの3つなのか説明不足。説明できないなら、政策的に取り上げる理由を明らかにすべき。		
ナノテクノロジー					
女性	50歳代	専業主婦	愛知万博、長久手日本館で、同じ水槽の中に淡水魚と海水魚が元気に泳いでいるのを見て、これがナノテクノロジーによる技術と知り、未来を実感できた。今後ますます、いろいろな分野で発展していく科学技術に感心するばかりである。医療、環境、教育と幅広く応用していった人が安全で安心して暮らせる世界にしてほしい。	ナノテクノロジーは、産業や医療を始め、人の暮らしを大きく変える可能性を秘めています。また、当地域では、知的クラスター創成事業として、ナノテクノロジーの取組が行われるなど、多くの研究者を有しており、本県産業の基盤技術として今後も積極的に取り組んでいきます。	
IT					
男性	60歳代	無職	・半導体を中心としたハード分野への指向が弱い(ナノテクノロジーで少しばかり言及している) ソフト面だけでは実現していくのに物足りない。	半導体への取組についても検討しましたが、ヒアリング等の結果、本県で強みがありかつサポートが期待されている分野は、ハードとソフトが一体となった組込の分野であり、あえて、他県と横並びとなる半導体からの視点ではなく組込分野からの視点を地域の取組分野としました。	x
男性	50歳代	会社員	ITは豊かな未来を拓く可能性があるが、それは都市部に対して言えることで、過疎の地域は、ITに対しても過疎である。技術は現在でもあるが、その使用については「効率だけでない」と言う見方で、進めていく事を希望する。デマントバス、電力線ネットワーク完全廃棄物の方式、過疎部からのユビキタス社会の実現が必要だ。又、ムダな信号機を無くすなど、ローテクITSも「移動時間の短縮」からも非常に有効な施策である。	科学技術の恩恵は全ての県民にが平等に受ける権利があります。しかしながら、企業原理や受けての能力、地理的要件、年齢等の要件から必ずしも実態はそうでないことも事実です。こうした格差を無くすインフラ整備を進めることと併せて、低コストかつ誰でも使える技術の開発などにより、様々な格差を是正する取組を進めていきます。	

性別	年齢	職業	ご意見	回答	計画への反映
4つの知の戦略への意見					
知の育成					
男性	50歳代	会社員	「知の戦略」に、ここ2～3年で定年を迎える技術者、特に各分野での「プロ」専門分野でのプロが沢山いると思われる。この人々の「力」を上手く使う「システム」を作り、利用すればより早く高度なものが、育成推進できるのではないかと思います。	本県では昨年度より熟練技能者による工業高校生の技能実習を、県高等職業訓練校で実施しています。今後も、NPO創設などを支援することで、熟練技術・研究者の多様な活動の場を確保していきます。	
男性	40歳代	公務員・団体職員	知の育成戦略の副題?である「ものづくり人材の育成に向けて」というのは、いかがなものか。青少年を含めて、すべてモノづくり人材にしてしまうわけでないし、いくら愛知県でも、科学技術振興イコールモノづくり振興とするほど、短絡的ではないはず。	基礎研究から応用・製品開発、事業化(サービス創造)までを含め、それに関わる人材全てをモノづくり人材として捉え、標記の方向性を示していました。本編ではモノづくり人材育成の重要性を記述するとともに、もう少し広範に「知」の創出をイメージできるよう修正します。	

性別	年齢	職業	ご意見	回答	計画への反映
男性	60歳代	無職	・ 知の育成に生涯学習の推進が方向性として定められているが、具体の取組でこれを受ける項目が見あたらない。青少年の育成と併行して成人の生涯学習が必要。家庭での役割や地域での役割があるはず。	<p>人材育成については、今回計画の重要課題と認識し、各年代層に向けた積極的な展開を考えています。</p> <p>しかしながら、人材育成には行政だけではなく地域や企業との連携・取組も重要であり、その部分においては、今後の課題と認識しております。各年度毎の見直し作業の中で具体的な取組を検討していきたいと思います。</p>	
女性	30歳代	専業主婦	少子化が進んでいるのでいろいろな分野、いろいろな場所の協力が必要だと思う。心の豊かさは個々のものだが、物理的な豊かさは社会、行政の力が必要だと思う。もう少し教育に力を入れるとよいと思う。		
男性	70歳以上	無職	全ての理念の前段に位置する人材の育成に目を向けていない様な印象を強く受けます。教育と人材の育成なしには、将来の愛知は存在しないと思います。		
男性	30歳代	公務員・ 団体職員	人づくりは国づくり。お金がないからといって予算を削っているようでは将来が心配。東京都では今年度産業技術高等専門学校を創設しました。愛知県でも同じような高等専門学校を設置してはどうですか。県立でなくても産学行政連携でもいいと思います。製造業が盛んなこの地域の特色を生かしつつ、この地域の発展をリードする科学技術を支える、そして、モノづくりを支える人材を育成してほしいと思います。		
男性	50歳代	会社員	住民すべてが科学に強くなれば社会の様々な問題（環境、医療、産廃、建築）が正確に判断できます。現状では無知、誤解で問題解決しています。研究者1人ひとりが他の分野にも見聞を広めて、社会に対して影響力を持って下さい。		
女性	20歳代	会社員	知の育成の点が良いと思う。私自身も学びたいと思った		

性別	年齢	職業	ご意見	回答	計画への反映
男性	30歳代	会社員	団塊の世代の保護や女性の進出などにより30代、40代男性の活躍ができない環境が多くあり、モチベーションの低下している人が多く見られる。	雇用環境が急速に改善されながら、失業率が改善されない雇用のミスマッチが大きな課題となっています。本県においても、あいち雇用促進プランにおいて、こうしたミスマッチを改善する施策を展開しており、科学技術分野においても各世代層に向けてこうした取組を進めていきます。	
女性		その他	専門家ではないのでよくわかりませんが「2010～2015年の愛知」の未来図を見て「本当にこのとおりになったら良いのに」と思いました。どの構想も素晴らしく早く実現してほしいの一言です。このような実現に向けて、IT産業に適するであろう若い世代の人々の取り組みを望みます。そうすればニートの問題にも少しながら良い結果をもたらすのではないかと思います・若い人達がしっかり働けば納税額も増え、国も豊かになると思います。		
男性	50歳代	会社員	この基本計画の実施において、1番関係があるのは研究者、大学生であろう。いわゆるホワイトカラーだ。対して還元される時1番の関係者はブルーカラー（作業員）と思う。ホワイトカラーは正社員、公務員、ブルーカラーは派遣社員、フリーターでさまざまな格差を埋める対応が必要だ。若年者は自分自ら職業意識を低下させた訳でない。		

性別	年齢	職業	ご意見	回答	計画への反映
知の連携					
男性	40歳代	公務員・ 団体職員	科学技術の推進には、知恵と金と汗が必要。県として、どの位の資金が投入できるのか。資金投入できない部分はどうのように民の力を活用するのか。知事以下どの位本気で取り組むのかをはっきりと表明する必要がある。県の最近の計画には夢がなさ過ぎる。科学技術の計画ぐらいは未来の夢を示して欲しい。	県財政は確かに非常に厳しい状況にあります。しかしながら、科学技術への投資は将来への備えであり、蓄えであると考えています。財政状況を考慮しつつ、本計画に基づき事業の選択と集中を行い、必要な場面には積極的に取組を進めていきます。	
男性	50歳代	その他	この計画（特に「知の戦略」）の財政的裏打ちはあるのか。我々の前には破産しそうな政府や地方自治体があるだけで、この計画のうち予算のとりやすいものからしか達成できないだろうからです。		
男性	60歳代	無職	投資資金の確保などもう少し先を見すえて積極的に進めてほしい。		
女性	20歳代	専業主婦	万博を契機とした多様な交流活動がさかんになれば良いと思います。そのためには、NPOの積極的な活用は必要であると考えます。	複雑化する行政課題解決には、産学行政の連携が重要と考えています。今後も積極的に様々な機関との連携を深めていきます。また、地域との連携についても重要であり、NPOや地域団体などとの連携を通して、団塊世代の活用などについても進めていきたいと思っています。	
女性	30歳代	専業主婦	愛知県には、いくつかの大学があるので大学を中心に進めていくのが望ましいと思う。また、特殊法人などの研究施設を誘致（宇宙にこだわらない）して、大学と共同開発していく等楽しみです。		
男性	20歳代	学生	愛知には優秀な企業が多いのでそのような企業との十分な連携が取れば実現は大いに期待できるのでぜひがんばってほしいです。		
男性	70歳以上	無職	大学と連携して県の発展のために相おぎなうシステムは素晴らしいことである。そして、成果のあった時、ちょっと待ったという時には、すかさず公表して県民と共に進めてほしいものである。	基本計画の実現においては、産学官の連携に加え、県民の理解・参加が不可欠となります。そのため、本計画についてはできる限りPRを進めていき、その進捗や見直しについてもその都度公開していくようにしていきます。	
男性	50歳代	会社員	本基本計画は実に良く出来ていると思う。ただ、もう少し県民にPRすべきと思います。		
男性	60歳代	その他	支援の取組みをその都度公表することをのぞみます。		

性別	年齢	職業	ご意見	回答	計画への反映
(県試験研究機関について)					
男性	50歳代	会社員	研究員の資質をもっと向上させることが必要だと思います。そのためには専門性を持った研究員育成を行うべきです。長く同じ研究テーマを追求できる環境が研究員には必要。無意味な人事転換は行うべきではない。専門を持ってこそ、研究員は本当に企業のためになる支援や相談に乗ることができる。	各試験研究機関は、その地域の産業支援・指導を行っており、一律に集約することはできません。しかしながら、県政の課題は複雑化しており、速やかな対応には部局を越えた取組が重要となっています。そのため、新たな「知の拠点」施設においては、県政課題の解決に向け、部局や研究所の枠を越え、今日的課題への速やかな対応と、長期的視点で取組が行えるよう検討を進め、本県の研究開発の拠点としての「知」の向上とノウハウの蓄積を進めてまいります。	
男性	40歳代	会社員	県の研究機関には、私達が利用できる優れた技術を開発してほしい。レベルの向上を求める(プロフェッショナルな研究者が少なく感じる)。		
男性	40歳代	会社員	出口と入り口だけでなく、研究にはその出口に向かうまでの過程も非常に重要であると思われる(出口に向かうまでのデータの蓄積が必要)。		
男性	50歳代	会社員	将来の夢のような科学技術を利用した明るい社会を作るのも重要ではあるが、その前に、今現在目の前にある諸問題について、先端の科学技術を利用した対策を講ずることが先決である。(アスベスト、フェロシルト、PCB処理、ゴミの収集方法の見直し、強度不足のマンション・ホテルなど)		
男性	50歳代	その他	県は一部の企業と共同で製品開発を行っているようですが、これには非常に不公平感を感じております。私どもには、まったく機会が与えられていないからです。共同研究の募集があっても、実際は既に提携先が決まっており、私どもの入る余地など皆無です。県が特定の企業と結びついて、製品開発することは、ほかの多くの企業にとっては非常に脅威に感じます。県はもっと業界全体のことを考慮して、製品開発につながるような基礎的な研究に力を入れてほしいと考えております。製品開発自体は私どもの仕事です。	県の実施する共同研究は、広く公平に実施されています。事前に提携先が決まっているようなことはありません。県では、県政課題の解決に向けた共同研究や、優れた技術を持ちながら製品化する体力のない中小企業支援を通して、地域全体の産業活性化を今後も進めていきますので御理解をいただきたいと思っております。	

性別	年齢	職業	ご意見	回答	計画への反映
男性	50歳代	会社員	一見する限り、とてもすばらしい計画だと存じますが、計画を実現するための手段には、疑問を感じています。県には幾つかの研究施設が散在しているが、とても効率の悪いやり方と言わざるをえません。これらの研究施設を一カ所に集めて、集中投資すれば、計画に挙げた幾つかの目標は達成されるでしょう。	各試験研究機関には、地域産業の指導・育成の役割もあり、広い県域を考えると一元化は困難です。しかし、近年の行政課題は分野や地域を越えた課題も多く、「知の拠点戦略」では、こうした課題を効率的かつ高度に研究できる研究拠点の構築を目指しています。	
男性	40歳代	自営業	いいと思う。ただ、自営業者は昨今の不況の中で、研究開発とは無縁の状況にあり、そうした、事業者においても研究開発が行えるような、中小企業支援をして欲しい。	新たな「知の拠点」施設では、中小企業が高度な研究開発が行えるよう、機材だけではなく指導や、共同研究が行える人的支援も行い、誰でもが利用できるオープンな施設としていきます。	
知の拠点					
男性	40歳代	公務員・団体職員	「科学技術交流財団、県試験研究機関の機能強化」について・新たな「知の拠点」構想に合わせ、県試験研究機関や、科学技術交流財団のあり方を見直し、双方が両輪となって産学行政連携の核となり科学技術を推進していく体制を築く。「双方」は、県試験研究機関と科学技術交流財団を指していると読み取れます。この両機関が「核」となるとの位置づけです。・県試験研究機関は、「知の拠点」を核として研究開発機能を強化 こちらでは「知の拠点」が「核」と謳っています。「核」がいくつもあるのはヘンですし、「知の拠点」が沢山ある県機関の「核」になるということは、全試験研究機関を統合する組織を「知の拠点」に設置する意味に受け取れますが、多分そうではないでしょう。『県試験研究機関は、「知の拠点」と連携して研究開発機能を強化』が適当と考えます。	本県の科学技術推進の核は、科学技術交流財団と県試験研究機関の両輪と考えています。なお、県試験研究機関については、その研究開発・共同研究の中心を科学技術交流センター（仮称）で横断的に行えることを想定しており、そうした意味での「核」の表現です。	
男性	60歳代	無職	研究・大学は国立（独立行政法人）のみか。県立大を拡充するのか。（大阪、神戸、京都、横浜、東京など特色を出して両立している）	県立3大学（県立大学・県立芸術大学・県立看護大学）については、「21世紀に飛躍し、競争力のある、魅力あふれる大学」づくりを目指して、法人化や統合・再編を含めたあり方の検討を進めており、隣接する科学技術交流センター（仮称）構想とも連携を検討していきたいと思えます。	

個別分野への技術面等への専門的意見（研究者等からの意見）については、一部省略しています。）